

電氣的ダイナミック加振器は、汎用加振器、モーダル加振器、もしくは慣性式加振器など、異なるタイプの加振器が存在します。使用環境に応じて、これらの加振器タイプを振動試験用に選択する必要があります。

### 汎用加振器

汎用加振器を用いたテストは、異なる周波数および振幅で駆動することができます。これらの実験では、サンプルは、加振器先端部に直接固定することができ、振動面積は、加振サンプルサイズに応じて加振器先端部を拡大することができます。垂直振動は、スリップ・テーブルを使用することによって水平振動に変換することもできます。いくつかの場合によっては、振動の運動の方向を変えずに、実験部品を回転させことで、試験することができます。テスト及び振動レベルの時間は、試験規格もしくはリアルタイム測定から決定されます。



## PM Shakers



## Modal Shakers

### モーダル加振器

モーダル加振器は、構造物の振動挙動の研究に使用されます。テストサンプルは、このような加振器には取り付けは出来ません。これらの加振器は、スティングーを用いて構造物に取り付けられ、力は、このスティングーを介して加振器から構造物に伝達されます。テスト中の構造物/モーダル加振器は、自由境界条件をシミュレートするために、テスト中に弾性ロープまたはスプリング等の部品で吊るすことができます。このように、異なる周波数でテストサンプルを振動することが可能であります。その結果として構造物の固有振動数およびモード形状は、構造物に対して測定された振動値を用いて計算することができます。

## 慣性式加振器

慣性式加振器及びモーダル加振器は、使用領域においては同様であります。これらは、モーダル加振器のような構造物の振動挙動を調べるためのテストにも使用されます。しかし、モーダル加振器と比較すると、接続スタイルは異なります。慣性式加振器自体が振動します。このため、慣性加振器は構造物・テストサンプルに直接固定され、モーダル加振器よりも使い易くなります。構造物の寸法と希望の加振周波数及び振動レベルに応じて、モーダル加振器または慣性式加振器を振動試験に使用することが出来ます。



## Inertial Shakers

### 問い合わせ先

有限会社 シスコム

〒171-0014

東京都豊島区池袋 4-27-5 和田ビル

TEL:03-6907-9105

FAX:03-6715-8740

Email:info@syscom-corp.jp

<https://www.syscom-corp.jp>